

## 令和2年度「学校を核とした地域力強化プラン事業成果報告会」

1. 目的 各市町における取組事例の発表や講演を通じて、地域学校協働活動のさらなる展開やコミュニティ・スクールとの一体的な推進に向けて、今後の方策や地域と学校の在り方について、ともに学ぶ機会とする。
2. 主催 滋賀県教育委員会
3. 対象 (1) 地域学校協働活動関係者  
(※ 地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター、ボランティア等)  
(2) 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）関係者  
(3) 各市町「学校を核とした地域力強化プラン」関係者  
(4) 公立幼稚園・小・中学校教職員、県立高等学校・特別支援学校教職員
4. 日時 令和3年1月22日（金） 13:30～16:30  
→会場での集合研修とオンデマンド配信視聴による研修のどちらかを選択する形で研修を実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から集合研修を中止し、オンデマンド配信視聴による研修実施とした。  
【オンデマンド配信期間 令和3年2月3日（水）～3月18日（木）】
5. 動画構成 ○事例発表  
「手をつなぎ、心通わす 誘・融（とけ合う）老上」  
草津市立老上小学校  
○県立学校の取組紹介  
滋賀県教育委員会事務局生涯学習課  
○講演  
演題：「学校と地域の繋がり方を再考する」  
講師：高木 和久 氏  
文部科学省CSマイスター、滋賀県CSアドバイザー  
びわこ学院大学 非常勤講師
6. 概要

草津市立老上小学校より、「老上ふれあい農業合校」と学校との連携・協働について、また、学校運営協議会での熟議を生かしながら子どもの成長を支えていること、コロナ禍においてもICTを活用して、子どもの学びを深めていることなど、具体例を交えながら発表いただいた。

県立学校の取組紹介では、県内のCSの導入状況や考え方、具体的な取組状況について、県生涯学習課員から説明をした。

講演では、これから学校運営協議会を設置する市町及び学校・地域に向けたお話や、設置されて数年経過して様々な課題を感じるCSのお話等、講演の内容を構成立てて分かりやすくお話いただいた。各地域を訪問した際のエピソードや実践例を交えながら、子どもの主体性を育むことの大切さや行政システムの再構成の必要性等について御教示いただいた。

